

## 歯科衛生学科 出前講義

仲井 雪絵

「むし歯は感染症です！ だから伝えたい、「マイナス1歳」からはじめるむし歯予防」

子どものむし歯ができるメカニズムの始まりは、むし歯菌の感染です。主に親から子へ家族内で感染します。将来お父さん、お母さんになる君達（中高生）が自分の口の中を健康にすることは、自分自身のためになるだけでなく未来の子ども達の健口のためにもなるのです。君達と未来の子ども達のために、今からできる最先端の方法を伝授いたします。



長谷 由紀子

「敵（口腔内細菌）を知って、健康な歯ぐきを維持しよう」  
みなさんは毎日“歯みがき”をしていますか？毎日の歯みがきや歯科医院でのクリーニングは口の中の“汚れの掃除”と考えている人も多いのではないのでしょうか。実は口の中の「汚れ」と言われているものは、「細菌の塊」なのです。歯周病を予防、治療するためにはこれらの歯周病の原因となる細菌のことをよく知って、効率的なセルフケアを毎日行うことが重要です。口の中の細菌、歯周病予防の視点から、今日から実践できる、したくなるセルフケアの方法についてお話しします。



中村 和美

「プラークコントロールで『健口』に!!」

テレビコマーシャルなどで耳にする「プラークコントロール」って、一体何だろう？プラークと食べかすの違いから、むし歯・歯周病・口臭を予防するプラークコントロールの重要性について、お口の健康をサポートする歯科衛生士によるケアへの関わりをとお話しします。



野口 有紀

「歯の健康を守ることが体の健康を守る」

歯を失う原因の多くは、むし歯や歯周病によるものです。口や歯の役割は、食べるだけでなく、話す、呼吸する、表情をつくるなどとても大切です。一生自分の歯で「元気に笑顔で会話ができる」「おいしく食事を食べることができる」ように、お口の健康を守る方法について最新の科学的根拠に基づいて、具体的にお話をします。



山本 智美

「むし歯や歯肉炎（歯周病）を予防しよう！」

むし歯や歯肉炎（歯周病）は、毎日の生活習慣と密接に関係しています。しかし、だからこそ病気になる前に予防可能な病気でもあるのです。そこで、むし歯や歯肉炎（歯周病）を予防するための知識、方法を学び、皆さんが生涯を通じ健康なお口で過ごせるよう応援します。



吉田 直樹

「今から行おう歯周病予防」

う蝕（むし歯）と歯周病は、口の2大疾患と言われており、歯を失ってしまう原因としても、1位と2位になっています。特に、中高年以降では、歯周病が1位となっています。中学生や高校生では、重度の歯周病患者は、少ないため、歯周病に対する意識があまりないことが多いのですが、正しい知識と予防法を身につけることが将来のためにも重要です。

